



## 61<sup>st</sup> IFALPA Annual Conference Istanbul 2006 Committee D 報告

IFALPA 総会 D Committee は ATS 委員会の担当で、2005 年度に 2 回行われた ATS Committee Meeting での委員会の活動内容の報告と、そこで討議され総会に提案された Policy 案についての討議が行われました。これらの議案は最終的に総会にて採択されました。本 NEWS ではその概要を紹介します。

### ・ ASAS

---

ASAS とは Airborne Separation Assistance System の略で、コックピットで他の航空機とのセパレーションを保つことを補助する目的の System で、2003 年の ICAO Navigation Conference に提案されました。現段階では ICAO ASAS Circular において、以下の 4 つの使用方法の概念が示されています。

- a) traffic situational awareness;
- b) airborne spacing;
- c) airborne separation; and
- d) airborne self-separation (from all traffic).

これら ICAO の動きに対して IFALPA では今後 ASAS が導入される際の指針として、ASAS が機上の System だけでなく地上設備を含めた「全体的な System」として認可、運用されるべきで、航空機の位置情報等の正確性をモニターする System の確立や情報を伝達するときのセキュリティーの確立を行う必要があるとの Policy を設定しました。

### ・ ACAS ( TCAS ) Phraseologies

---

TCAS RA が発生時、管制機関に通報する際使用する用語が決められていますが、緊張を強いられる状況では、より簡単な表現が望ましいと ATS Committee では考え、例えば TCAS RA に従い承認高度を一時的に離脱して、再びその高度に戻る際に「Returning to (assigned ALT)」ではなく「Clear of Conflict」で十分であるとし、IFALPA はこれら TCAS に関する用語の見直しを ICAO に提案しています。